

# 水道の概況

# 1 水 道 数

平成25年度末現在における、水道法の適用を受ける給水人口101人以上の水道の数は65となっている。

その内訳は、給水人口5,001人以上の上水道事業16、給水人口5,000人以下の簡易水道事業16、水道事業に浄水を供給する水道用水供給事業2、自家用水道として寄宿舍、社宅、療養所などに給水する専用水道31である。

昭和35年以降の水道数の推移は、次表のとおりである。

水 道 数 の 推 移

種別	年度	水 道 数												
		S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H23	H24	H25
水道用水供給事業				2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2
上水道事業		15	24	28	38	38	39	39	39	39	19	16	16	16
簡易水道事業		77	60	51	39	33	35	34	33	31	19	17	17	16
専用水道		(8) 8	(12) 12	(18) 19	(13) 21	(8) 17	(6) 15	(6) 22	(6) 23	(5) 22	(4) 21	(4) 29	(6) 31	(4) 31
計		100	96	100	100	90	91	97	97	95	61	64	66	65

注) ( )は、専用水道のうち、自己水源のみで給水している水道数である。

本県の近代水道は、大正10年の高松市水道の給水に始まった。続いて、大正15年に丸亀市、昭和10年に坂出市、昭和12年に琴平町、昭和13年に観音寺市と続き、昭和35年度には、15の上水道事業と77の簡易水道事業へと拡大してきた。その後、簡易水道や専用水道の上水道への統合が進み、昭和50年度に上水道が38、簡易水道が39となった。昭和50年度以降、上水道数にはほぼ変動がなかったが、平成14年度以降の市町合併に伴う減少、平成19年度の直島町における上水道から簡易水道への変更及び平成22年度の観音寺市内における3上水道事業の統合により、16上水道となっている。簡易水道については、平成22年度の観音寺市田野々簡易水道、平成23年度の高松市塩江簡易水道及び平成25年度の小豆島町橘簡易水道の上水道への統合により、16簡易水道となっている。専用水道は、31専用水道となっている。

また、水道用水供給事業は、昭和43年度に香川県水道用水供給事業が認可を受け、昭和49年8月から水道水の供給が開始された。その後、昭和45年度に小豆地区広域行政事務組合水道用水供給事業が認可を受け、平成25年度末現在、2事業となっている。

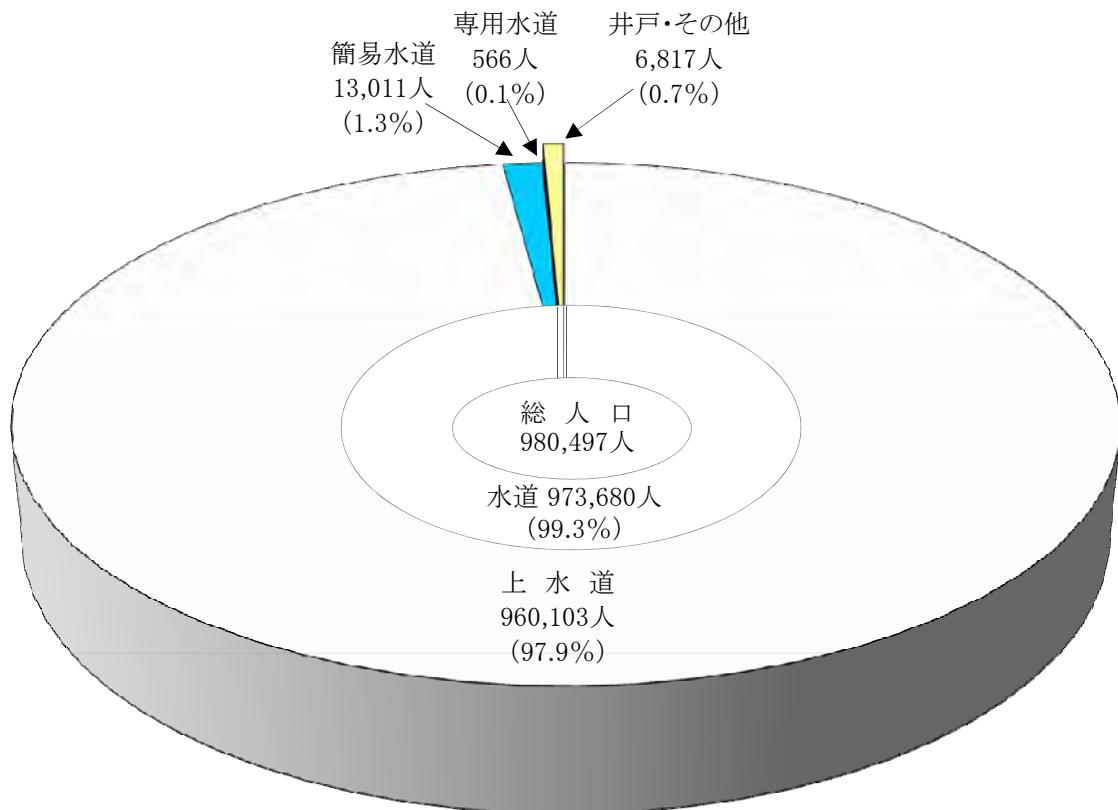
水道法では、上記水道の他に、水道事業の用に供する水道から供給を受ける水のみを水源とする水道であって、受水槽の有効容量の合計が10立方メートルを超えるもの(水道事業、専用水道は除く。)を簡易専用水道として、その管理について規制している。

また、平成13年度の水道法改正により、簡易専用水道を含め、水槽の規模によらない建物内水道の総称として貯水槽水道が定義され、設置者責任による適正管理の徹底を図っている。

## 2 水道の普及状況

### (1) 香川の水道の給水人口

平成25年度末における給水人口は973,680人となった。



$$\text{水道普及率} = \frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内総人口}} \times 100\%$$

※ 専用水道の給水人口は、自己水源のみによって給水している施設の給水人口である。

給水人口の年度別推移

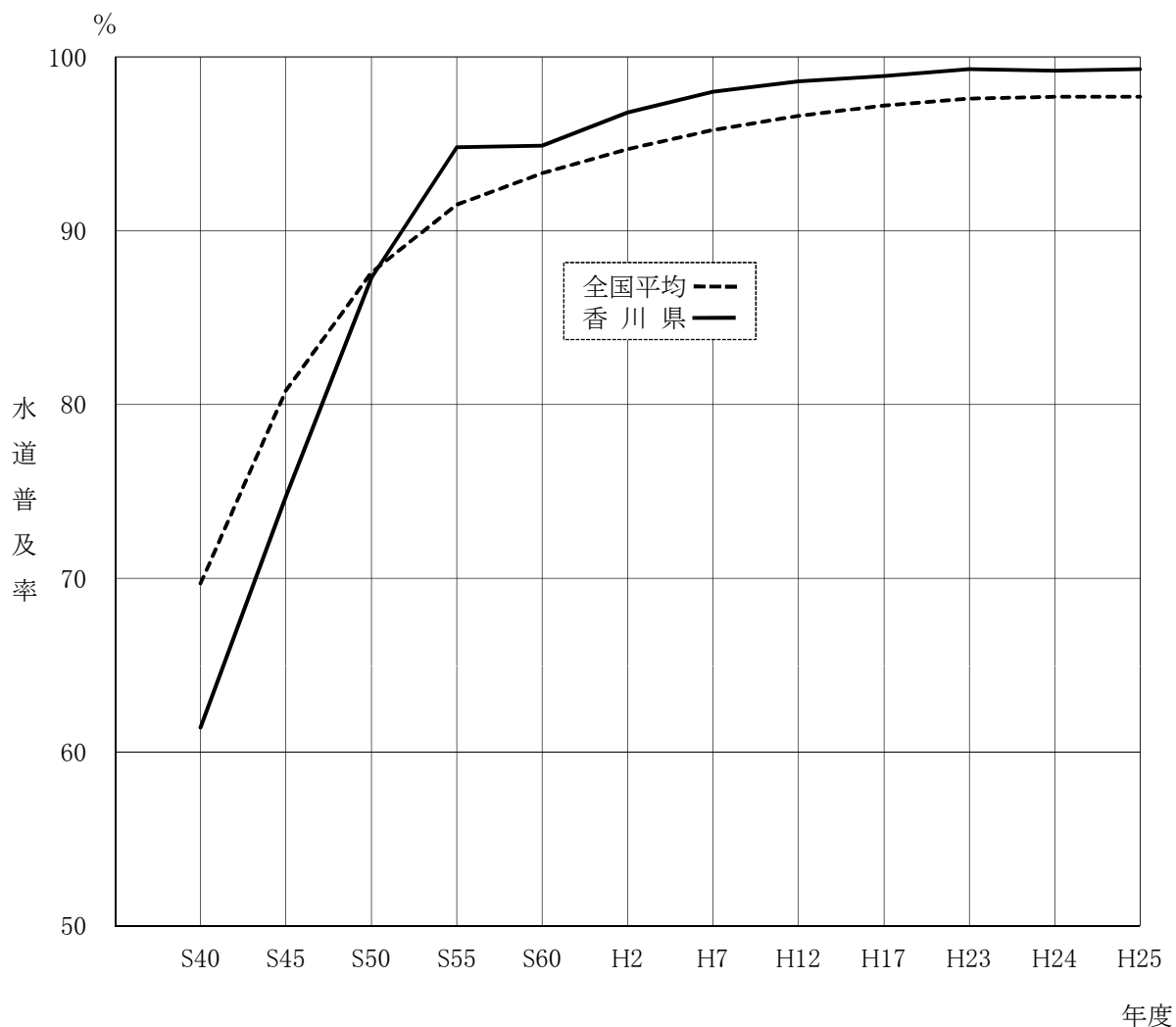
項目 \ 年度	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H23	H24	H25	
総人口(人)	1,000,013	1,020,363	1,020,763	1,024,109	1,019,757	1,007,958	988,331	984,438	980,497	
給水人口(人)	947,819	968,763	987,759	1,003,618	1,005,533	996,601	981,134	976,883	973,680	
水道別内訳	上水道(人)	906,614	934,946	953,795	971,616	974,741	978,983	966,652	962,615	960,103
	簡易水道(人)	37,838	30,842	31,634	30,645	29,753	16,485	13,868	13,672	13,011
	専用水道(人)	3,367	2,975	2,330	1,357	1,039	1,133	614	596	566
水道普及率(%)	94.8	94.9	96.8	98.0	98.6	98.9	99.3	99.2	99.3	

## (2) 香川の水道普及率

平成25年度末における香川県の水道普及率は99.3%であり、わが国の水道普及率97.7%を1.6ポイント上回っている。

香川県の普及率は永らく、全国の普及率より6～8%低い水準にあったが、昭和51年度に初めて逆転して以来、全国の普及率より上位にある。

水道普及率の年度別推移



水道普及率の年度別推移

区分 \ 年度	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H23	H24	H25
香 川	61.4	74.7	87.3	94.8	94.9	96.8	98.0	98.6	98.9	99.3	99.2	99.3
全 国	69.7	80.8	87.6	91.5	93.3	94.7	95.8	96.6	97.2	97.6	97.7	97.7

※平成25年度の全国値については、東日本大震災等の影響により、福島県の一部市町村データが未集計となっている。

(3) 全国の水道普及状況(平成25年度末)

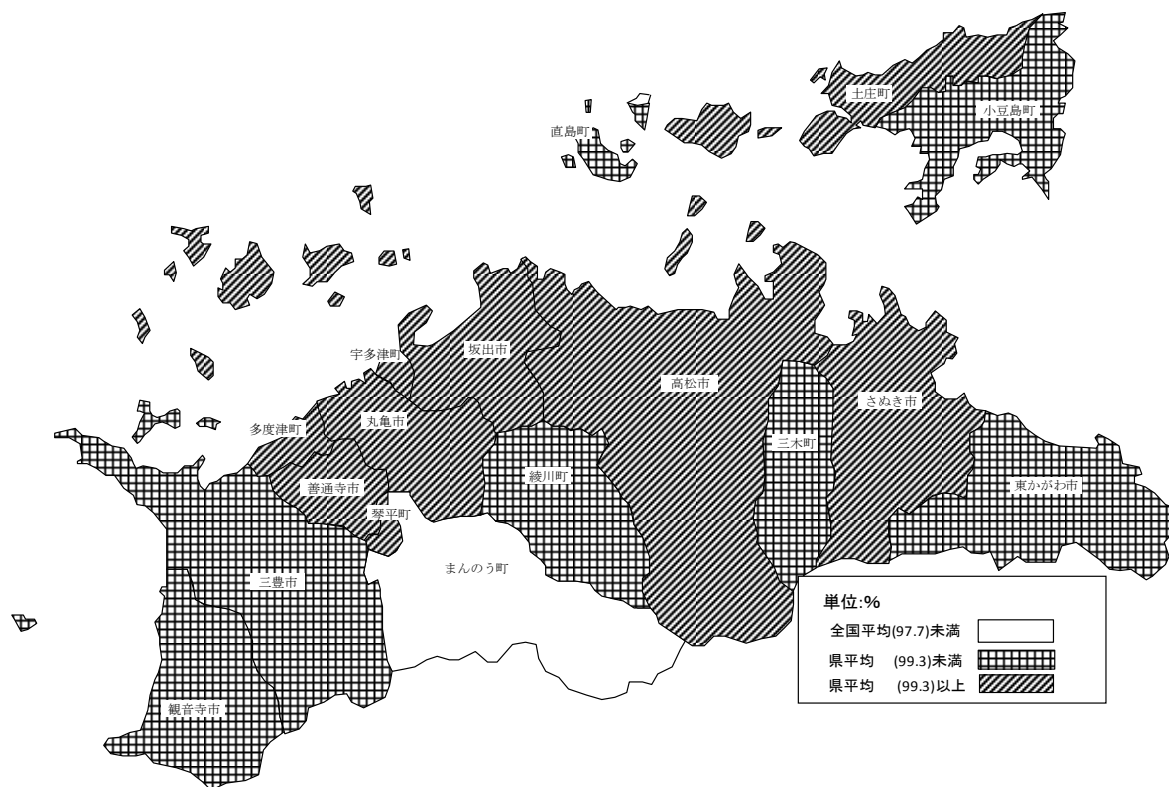
(単位:%)

順位	都道府県名	普及率
1	東京	100.0
2	大阪	100.0
3	沖縄	99.9
4	神奈川	99.9
5	愛知	99.8
6	兵庫	99.8
7	埼玉	99.8
8	京都	99.7
9	三重	99.5
10	群馬	99.5
11	滋賀	99.4
12	奈良	99.4
13	香川	99.3
14	静岡	99.2
15	新潟	99.2
16	岡山	99.0
17	長野	98.9
18	石川	98.8
19	宮城	98.8
20	長崎	98.4
21	山形	98.4
22	山梨	98.1
23	北海道	98.1
	合計	97.7

順位	都道府県名	普及率
24	和歌山	97.5
25	鹿児島	97.5
26	鳥取	97.5
27	青森	97.2
28	宮崎	97.1
29	島根	97.0
30	徳島	96.3
31	福井	96.2
32	岐阜	95.8
33	栃木	95.6
34	千葉	95.0
35	佐賀	94.8
36	広島	94.2
37	茨城	93.6
38	福岡	93.6
39	山口	93.3
40	愛媛	93.0
41	岩手	93.0
42	富山	93.0
43	高知	92.7
44	大分	91.1
45	秋田	90.7
46	福島	89.9
47	熊本	86.9

※ 東日本大震災等の影響により、福島県については一部の市町村データが未集計となっている。

(4) 市町別水道の普及状況(平成25年度末)



市町別水道普及率

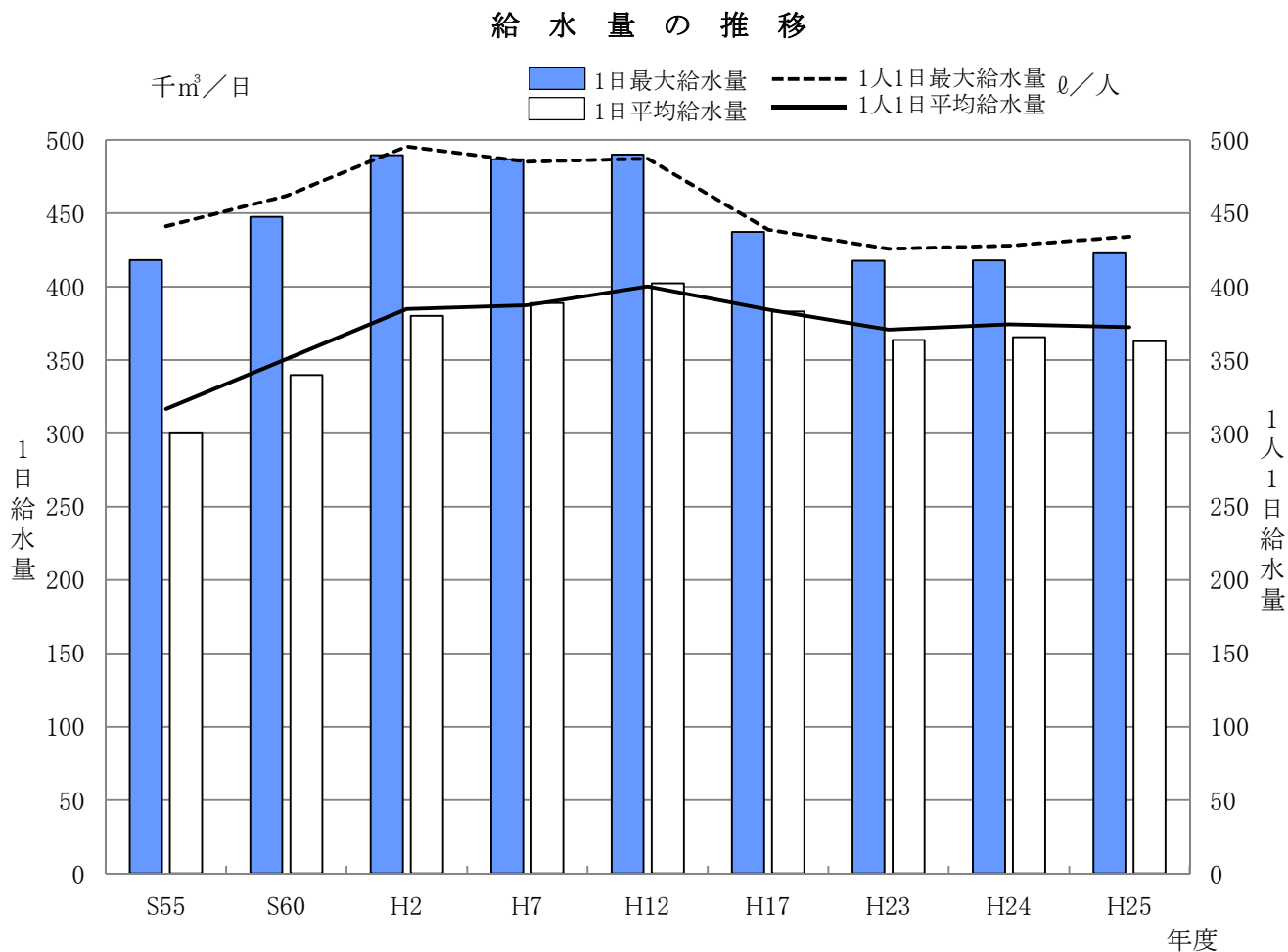
(単位:%)

市町名	普及率	市町名	普及率
高松市	99.4	小豆島町	98.2
丸亀市	99.5	三木町	98.1
坂出市	99.8	直島町	98.7
善通寺市	99.9	宇多津町	100.0
観音寺市	99.2	綾川町	98.8
さぬき市	99.6	琴平町	99.9
東かがわ市	98.9	多度津町	99.8
三豊市	98.9	まんのう町	96.8
土庄町	99.3	県平均	99.3

### 3 給 水 量

#### (1)1日当たりの給水量

1日の平均給水量については、平成12年度までは増加し、それ以降減少傾向となっていたが、近年はほぼ横ばいの状況となっている。



#### 水 道 の 給 水 量

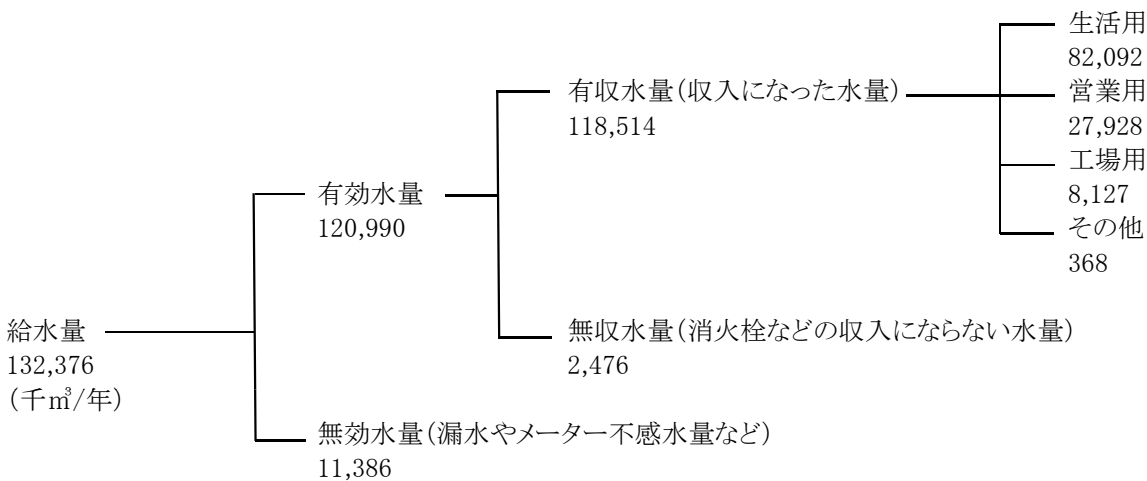
項目 \ 年度	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H23	H24	H25
給水人口(人)	947,819	968,763	987,759	1,003,618	1,005,533	996,601	981,134	976,883	973,680
1日最大給水量 (m³/日)	418,164	447,435	489,556	486,905	490,022	437,288	417,653	417,920	422,710
1人1日最大給水量 (ℓ/人・日)	441	462	496	485	487	439	426	428	434
1日平均給水量 (m³/日)	300,055	339,619	379,971	388,801	402,237	382,948	363,602	365,603	362,674
1人1日平均給水量 (ℓ/人・日)	317	351	385	387	400	384	371	374	372

## (2) 水道水の用途別使用状況

給水量からみた水道水は、料金の対象となる有収水量が89.5%、料金の対象にはならなかったが、消火栓など有効に利用された無収水量が1.9%、漏水などの無効水量が8.6%となっている。

用途別では、一般家庭で使用する生活用が62.0%、営業用が21.1%、工場用が6.1%となっており、約6割が一般家庭で使用されている。

有収水量:家屋・店舗・工場などで使用された水量 89.5%			無収・無効水量 10.5%
生活用 62.0%	営業用 21.1%	工場用 6.1%	漏水その他(無効) 8.6%
		その他 0.3%	管洗浄・ 消火栓など(無収) 1.9%



有収水量と給水量の推移

項目 \ 年度	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H23	H24	H25
A 年間給水量 (千m³)	(109,520)	123,961	138,690	142,301	146,816	139,776	133,063	133,445	132,376
B 年間有収水量 (千m³)	(88,328)	104,065	120,076	124,866	130,284	125,107	119,607	119,646	118,514
C (有収率) B/A (%)	80.7	83.9	86.6	87.7	88.7	89.5	89.9	89.7	89.5
D 年間有効無収水量 (千m³)	3,161	2,950	3,655	3,527	4,075	3,944	2,420	2,458	2,476
E D/A (%)	2.9	2.4	2.6	2.5	2.8	2.8	1.8	1.8	1.9
F 年間無効水量 (千m³)	(21,192)	16,981	14,959	13,908	12,458	10,726	11,037	11,341	11,386
G F/A (%)	19.3	13.7	10.8	9.8	8.5	7.7	8.3	8.5	8.6

( )推定値

※ 各項目で四捨五入しているため、計で一致しない場合がある。



## 4 水道水源

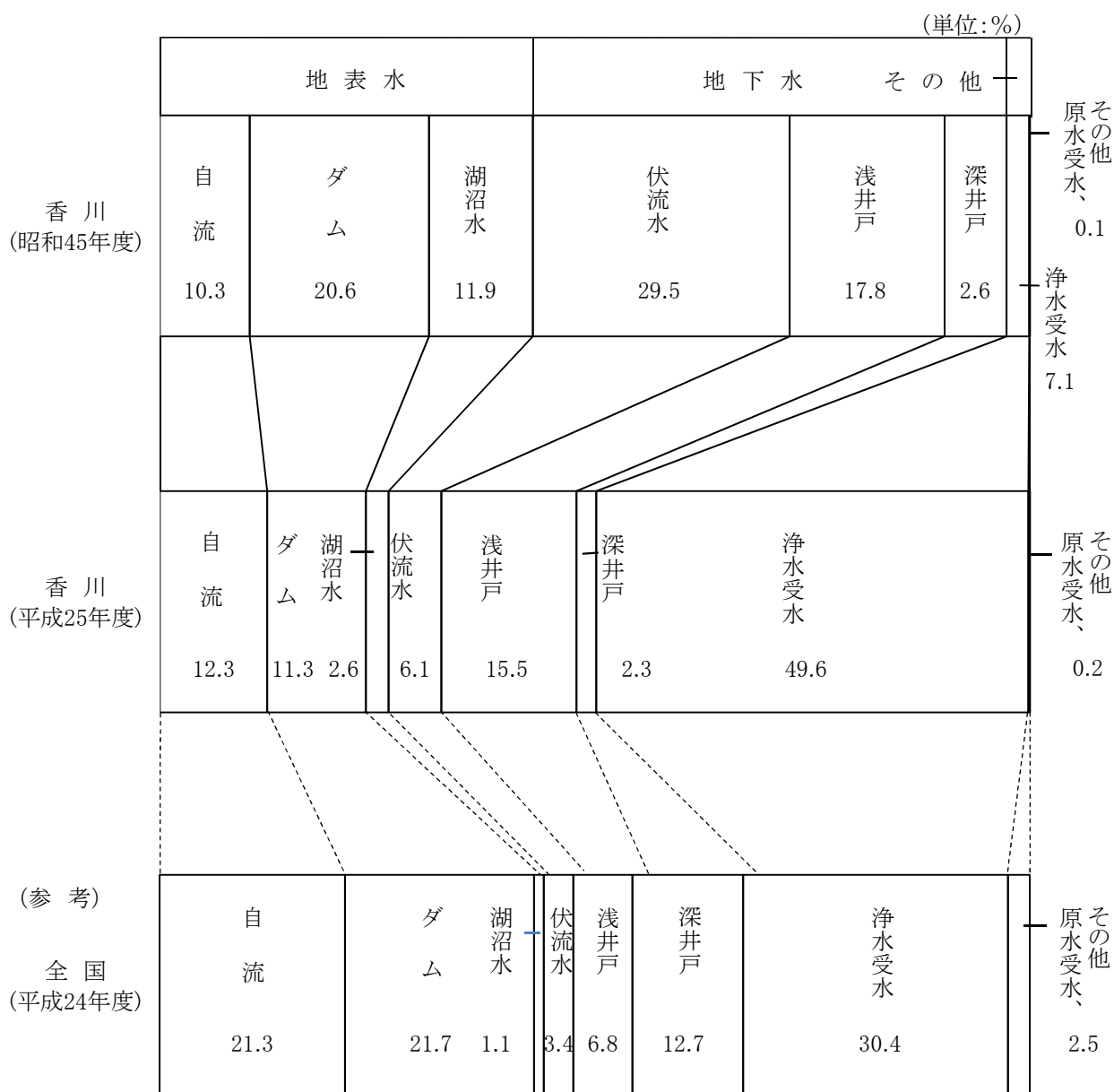
### (1) 水源構成

香川県の上水道、簡易水道、専用水道について、平成25年度の年間取水量における水源構成をみると次のとおりであり、昭和45年度と比べて、浄水受水の比率が高くなっている。

また、全国と比較しても、浄水受水の比率が高いことがわかる。

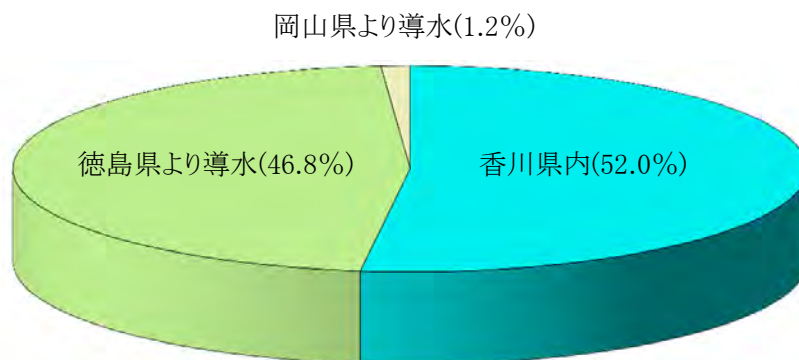
浄水受水については、香川県水道用水供給事業が94.31%、小豆地区広域行政事務組合が3.27%、玉野市が2.38%、倉敷市が0.04%の割合となっている。

また、県外への依存率は、徳島県に46.8%、岡山県に1.2%となっている。



※ 比率は、各項目で四捨五入をしているため、計で100にはなっていない。

## 水道水源の他県依存度(平成25年度)



## 水源別年間取水量

	香 川				全 国(上水道)	
	昭和45年度		平成25年度		平成24年度	
	取水量(万m <sup>3</sup> )	比率(%)	取水量(千m <sup>3</sup> )	比率(%)	取水量(千m <sup>3</sup> )	比率(%)
地表水	2,877	42.8	36,154	26.3	6,799,294	44.0
表流水	2,074	30.9	32,565	23.7	6,635,100	43.0
自流	692	10.3	16,978	12.3	3,289,011	21.3
ダム	1,382	20.6	15,587	11.3	3,346,089	21.7
直接	215	3.2	4,304	3.1	814,552	5.3
放流	1,166	17.4	11,283	8.2	2,531,537	16.4
湖沼水	803	11.9	3,589	2.6	164,194	1.1
地下水	3,659	54.4	32,888	23.9	3,544,965	23.0
伏流水	1,982	29.5	8,340	6.1	529,491	3.4
井戸水	1,677	24.9	24,549	17.8	3,015,474	19.5
浅井戸	1,201	17.8	21,384	15.5	1,048,926	6.8
深井戸	476	7.1	3,164	2.3	1,966,548	12.7
その他	186	2.7	68,595	49.8	5,097,403	33.0
受水	185	2.7	68,327	49.6	4,814,345	31.2
原水	7	0.1	0	0.0	113,203	0.7
浄水	178	2.6	68,327	49.6	4,701,142	30.4
用水供給(香川県)	—	—	64,440	46.8	—	—
" (小豆広域)	—	—	2,232	1.6	—	—
他県(岡山県玉野市)	—	—	1,627	1.2	—	—
" (岡山県倉敷市)	—	—	28	0.0	—	—
(県内の他市町から)	—	—	(0)	—	—	—
(同一市町内水道事業から)	—	—	(895)	—	—	—
その他	1	0.0	268	0.2	283,058	1.8
計	6,722	100.0	137,637	100.0	15,441,662	100.0

※ 香川(昭和45年度実績)及び全国(平成24年度実績)における「その他受水-浄水」の内訳については詳細が不明なため、記載していない。

香川(平成25年度実績)における「その他受水-浄水」のうち、(県内の他市町から)及び(同一市町内水道事業から)は、二重カウントになるため、計には含まない。

なお、数値は、各項目で四捨五入をしているため、計で一致しない場合がある。

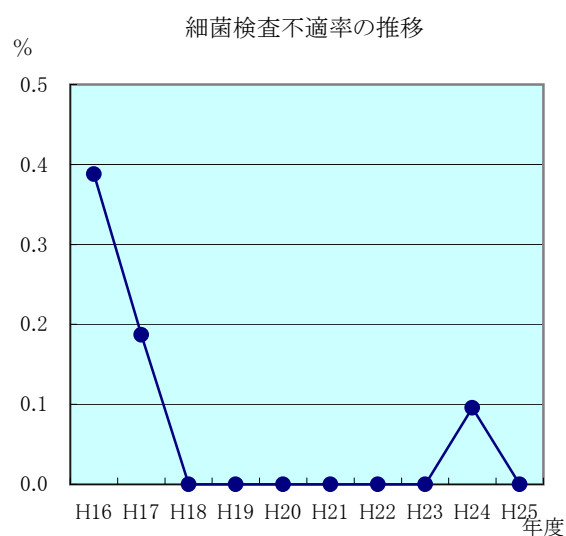
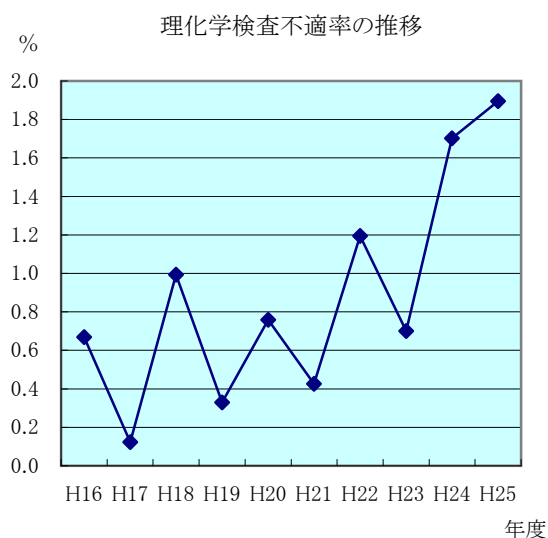
## (2) 年間給水量における香川用水受水比率

(平成25年度)

市町名	年間給水量 (千 $\text{m}^3$ )	香川用水受水量 (千 $\text{m}^3$ )	比率(%)
高松市	50,167	28,407	56.6
丸亀市	15,234	5,583	36.6
坂出市	8,475	4,616	54.5
善通寺市	4,169	1,436	34.4
観音寺市	9,055	5,228	57.7
さぬき市	6,845	3,139	45.9
東かがわ市	5,164	596	11.5
三豊市	10,854	7,871	72.5
三木町	3,083	2,922	94.8
宇多津町	2,416	2,416	100.0
綾川町	3,117	386	12.4
琴平町	1,533	470	30.6
多度津町	3,368	1,371	40.7
香川用水受水市町	123,479	64,440	52.2
土庄町	2,249	0	0.0
小豆島町	2,451	0	0.0
直島町	1,744	0	0.0
まんのう町	2,452	0	0.0
非受水市町	8,897	0	0.0
県合計	132,376	64,440	48.7

## 5 水道の維持管理状況

平成25年度の水道水質基準適合状況をみると、理化学検査においては不適率が1.9%、細菌検査においては0%。



### 水道の維持管理状況

年度	水質検査実施状況							健康診断実施状況	
	定期又は臨時検査				毎日検査		原水全項目検査		
	理化学検査		細菌検査		実施件数(日)	不適件数(日)		実施件数(件)	実施人員(人)
	実施件数(件)	不適件数(件)	実施件数(件)	不適件数(件)					
H16	1,796	12	1,805	7	22,601	53	58	200	0
H17	1,634	2	1,604	3	19,602	6	47	182	0
H18	1,208	12	1,202	0	13,119	16	84	161	0
H19	1,516	5	1,303	0	14,495	0	53	178	0
H20	1,581	12	1,383	0	13,930	0	66	168	0
H21	1,407	6	1,217	0	14,960	1	50	244	0
H22	1,256	15	1,053	0	14,122	0	41	165	0
H23	1,285	9	1,072	0	14,596	0	80	217	0
H24	1,293	22	1,044	1	15,075	0	103	129	0
H25	1,108	21	1,081	0	12,469	0	154	243	0

※県所管水道施設に限る。

## 6 上水道及び水道用水供給事業における基幹管路の耐震化状況

平成25年度末の香川県の上水道及び水道用水供給事業における基幹管路の耐震化率は、14.2%であり、全国平均21.6%を7.4ポイント下回っている。

各水道事業者は、耐震性が低い石綿セメント管からダクタイル鋳鉄管などの耐震管への更新を行っている。

事業者名	基幹管路の 総延長 (m) (全国:km) (A)	耐震適合性のある管 (m) (全国:km)		耐震適合率 (%)		(参考)	
		(B)	耐震管 (耐震形継手を有する ダクタイル鋳鉄管等) (C)	(B/A)	耐震化率 (%) (C/A)	管路総延長 (m)	石綿 セメント管 (m)
高松市	220,955	81,594	41,495	36.9	18.8	2,258,882	1,200
丸亀市	103,504	32,568	32,568	31.5	31.5	920,920	6,492
坂出市	33,872	578	578	1.7	1.7	462,879	2,754
善通寺市	6,146	2,477	382	40.3	6.2	261,784	891
観音寺市	38,996	1,558	1,545	4.0	4.0	571,261	150
さぬき市	81,879	41,219	8,993	50.3	11.0	503,598	755
東かがわ市	72,650	3,454	2,670	4.8	3.7	345,690	36,433
三豊市	212,099	52,915	6,984	24.9	3.3	938,326	0
土庄町	7,710	90	90	1.2	1.2	167,909	7,195
小豆島町	44,963	17,076	17,076	38.0	38.0	167,357	0
三木町	3,313	0	0	0.0	0.0	271,268	7,604
宇多津町	27,631	9,170	8,101	33.2	29.3	104,807	0
綾川町	33,659	7,436	424	22.1	1.3	372,735	0
琴平町	4,844	458	0	9.5	0.0	78,011	0
多度津町	28,175	9,976	9,976	35.4	35.4	214,429	0
まんのう町	7,320	77	77	1.1	1.1	148,906	0
上水道 計	927,716	260,646	130,959	28.1	14.1	7,788,762	63,474
小豆広域	37,815	1,212	1,212	3.2	3.2	37,815	0
香川県	306,763	197,884	48,575	64.5	15.8	306,763	0
用水供給 計	344,578	199,096	49,787	57.8	14.4	344,578	0
計	1,272,294	459,742	180,746	36.1	14.2	8,133,340	63,474
全国 計	96,815.6	33,691.7	20,941.6	34.8	21.6	644,722,990	6,501,114

※ 全国の管路総延長及び石綿セメント管延長については、平成24年度末の数値である。

## 7 配水池設置状況

平成27年1月1日現在

市町等名	水道事業名	配水池数 (池)	耐震性有 (池)	有効容量 (m <sup>3</sup> )	貯留時間 (h)	内 遮断装置付き配水池		
						配水池数 (池)	有効容量 (m <sup>3</sup> )	貯留時間 (h)
高松市	高松市水道	40	7	105,120	16.2	14	58,100	8.9
丸亀市	丸亀市水道	31	12	43,146	17.7	2	21,050	8.6
坂出市	坂出市水道	19	2	34,058	18.1			
	与島簡易水道	2	0	180	18.3			
善通寺市	善通寺市水道	5	2	9,270	15.5			
観音寺市	観音寺市水道	49	3	22,778	17.7	3	4,240	3.3
さぬき市	さぬき市水道	56	9	23,692	19.6	3	6,000	5.1
	さぬき市簡易水道	8	0	244	29.4			
東かがわ市	東かがわ市水道	24	8	15,354	15.9	5	7,300	7.5
三豊市	三豊市水道	90	17	27,200	15.7	15	20,045	11.6
土庄町	土庄町水道	31	0	8,306	19.1			
	家浦・唐櫃簡易水道	6	0	388	19.3			
	甲生簡易水道	1	0	70	28.0			
小豆島町	小豆島町水道	24	4	7,724	17.4			
	岩谷簡易水道	2	0	32	14.4			
	当浜簡易水道	1	0	21	9.6			
	福田簡易水道	1	0	200	18.4			
	吉田簡易水道	1	0	204	21.1			
	中山簡易水道	2	0	80	14.2			
	福田浜簡易水道	1	0	260	12.4			
三木町	三木町水道	9	4	7,930	13.0	4	6,260	10.2
	堂ヶ平簡易水道	2	0	67	29.2			
直島町	直島町簡易水道	3	3	2,600	8.9	3	2,600	8.9
宇多津町	宇多津町水道	3	2	5,550	9.7	2	3,950	6.9
綾川町	綾川町水道	40	8	6,005	13.3			
琴平町	琴平町水道	4	1	3,530	9.0			
多度津町	多度津町水道	13	2	10,706	13.9	2	10,000	13.0
まんのう町	まんのう町水道	4	0	2,304	12.0	1	1,000	5.2
	琴南炭所簡易水道	17	0	1,250	23.1			
	仲南地区簡易水道	8	1	1,755	20.8	1	572	6.7
	塩入地区簡易水道	1	0	60	48.0			
県水道局	県水道用水供給	21	7	94,750	7.3	12	73,910	5.7
	五色台簡易水道	2	0	240	10.4			
計		521	92	435,074		67	215,027	

※ 貯留時間＝有効容量の計÷計画1日最大給水量×24時間

## 8 平成25年度水道関係補助事業

【国庫補助事業】

(単位:千円)

事業名	予算執行年等	事業主体	事業名称等	補助基本額	補助率	補助額
水道水源開発等 施設整備費補助	平成24年度から の繰越分	高松市	水道水源開発施設整備費	195,101	1/3	65,034
			緊急時給水拠点確保等事業費 (重要給水施設配水管)	136,407	1/3	45,469
			水道管路耐震化等推進事業費 (老朽管更新事業)	85,156	1/4	21,289
			水道管路耐震化等推進事業費 (老朽管更新事業(DIP))	60,468	1/4	15,117
		小豆島町	水道水源開発施設整備費	50,199	1/3	16,733
		宇多津町	水道管路耐震化等推進事業費 (老朽管更新事業)	8,168	1/4	2,042
	平成25年度分	高松市	水道水源開発施設整備費	145,033	1/3	48,344
		坂出市	緊急時給水拠点確保等事業費 (基幹水道構造物の耐震化事業)	45,780	1/3	15,260
			水道管路耐震化等推進事業費 (老朽管更新事業)	78,960	1/3	26,320
		さぬき市	高度浄水施設等整備費 (紫外線処理施設)	66,000	1/3	22,000
小豆島町		水道水源開発施設整備費	4,051	1/3	1,350	
簡易水道等施設 整備費補助	平成25年度分	観音寺市	簡易水道再編推進事業 (簡易水道統合整備事業)	31,655	1/4	7,536
		綾川町	水道未普及地域解消事業 (飛地区域)	102,000	4/10	40,800
簡易水道等施設整備 費補助(離島振興)	平成25年度分	直島町	生活基盤近代化事業 (増補改良)	18,130	1/2	9,065
			生活基盤近代化事業 (基幹改良)	65,830	1/2	32,915

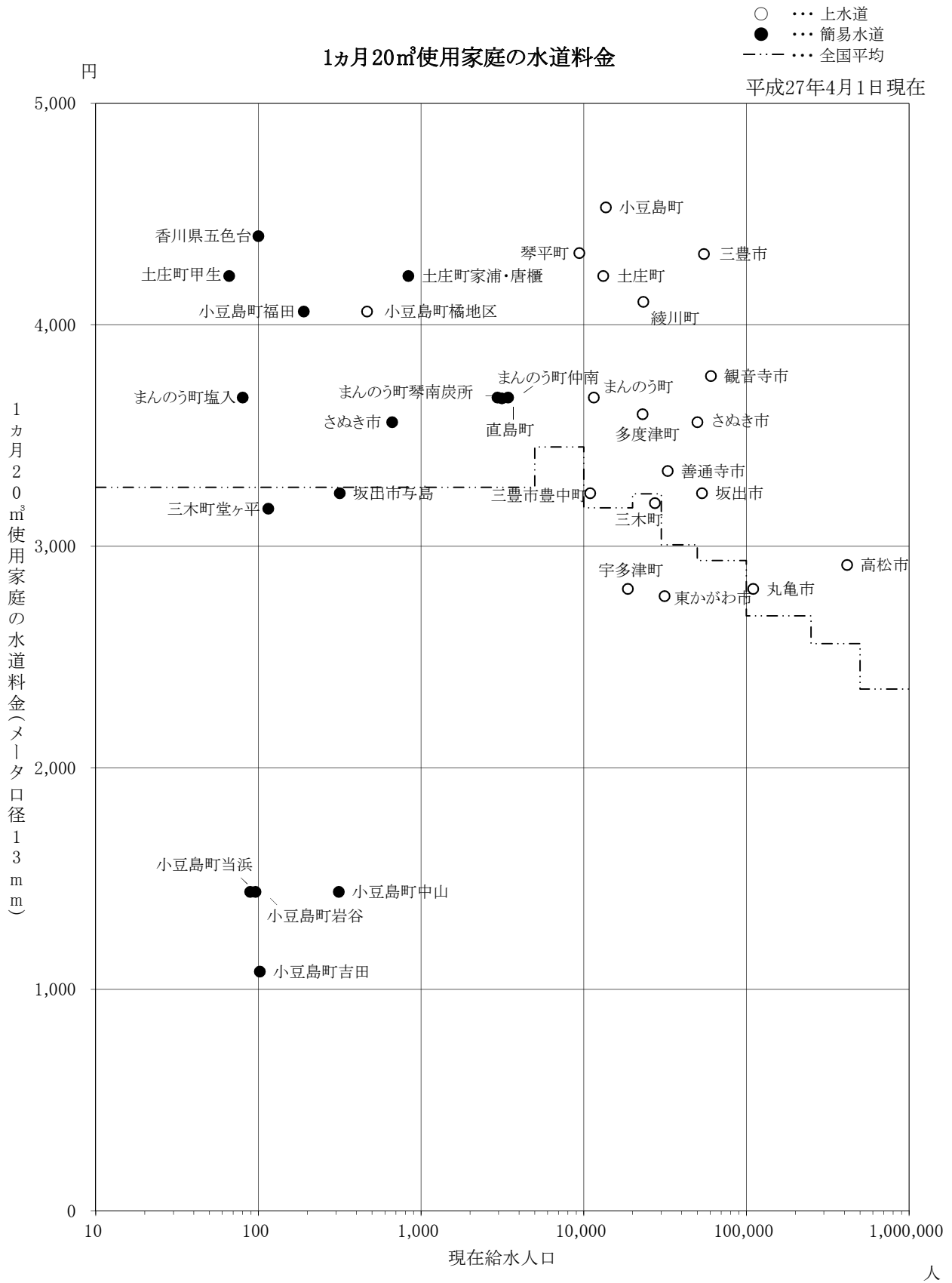
【県費補助事業】

(単位:千円)

事業名	予算執行年等	事業主体	事業名称等	補助基本額	補助率	補助額
水道水源開発施設 整備費補助	平成24年度から の繰越分	高松市	栴川ダム	195,101	25.34%	49,438
	平成25年度分	高松市	栴川ダム	145,033	25.34%	36,751

# 9 水道料金

水道料金は事業ごとに原価をもとに決められており、事業間でばらつきがある。



※ 全国平均は、平成24年度末現在における上水道事業の平均値である。